



pal*system

パルシステム埼玉



社会活動・環境報告書

CSR REPORT 2021

CSR 報告書発行にあたって



生活協同組合パルシステム埼玉
理事長 樋口 民子

パルシステム埼玉は安全で安心な食を中心とした商品の供給事業、
共済・保険事業、電力事業を県内で展開し組合員と地域の暮らしを支
える生活協同組合です。この報告書は2021年度のパルシステム埼玉の
事業と活動を通じた社会・環境活動を網羅しています。

昨夏、無観客ながら東京オリンピック・パラリンピックが開催された
一方で、医療現場は感染症の対応に追われ医療崩壊の危機に瀕しま
した。また、新型コロナウイルスの感染が拡大した2年間で困窮問題
は、さらに深刻化したと報じられています。こうした課題の解決に向け
て、パルシステム埼玉では、困窮世帯の支援や地域の医療機関のお役

に立てるよう、2021年6月開催の総代会で「貧困・医療支援積立金」を承認いただき、支援を進めまし
た。さらに、パルシステム給付型奨学金制度も始まり、経済的だけではなく社会的にも困難を抱えた若
者を伴走支援する奨学金として大学生を支援しています。

その他、商品展示会や食の学習会等をオンラインで開催しつつ、久しぶりに組合員と生産者が顔を
合わせた「田んぼ交流」など、状況に合わせた活動を行なってきました。

2022年2月にはロシアによるウクライナ軍事侵攻が始まり、市民の平和な日常と生命が簡単に奪われる
ことを目の当たりにしています。日々の暮らしを大切にする生活協同組合の立場から、改めて平和の尊さを
を広く呼びかけていきます。食、環境、福祉、平和などそれぞれに課題はありますが、より良い地域社会・
世界を目指し、理念・ミッションの実現を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献していきます。
組合員、役職員、地域のみなさまと一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



報告書発行にあたって……	2p	農業……	12p
理念・ミッション……	3p	平和……	13-14p
事業……	4-5p	環境……	15-16p
特集……	6-7p	人材育成……	17p
暮らし・まちづくり……	8-9p	内部統制……	18p
子育て・食育……	10-11p	パルシステムの取り組み……	19p

パルシステム埼玉も2030年
の目標達成に向けてSDGsに
取り組んでいます。



パルシステム埼玉とは

生活協同組合パルシステム埼玉は、埼玉県全
域で事業と活動に取り組んでいます。

県内に配送センター8か所、組合員活動施設
1か所を有しており、食の「安全・安心」と組合員
一人ひとりの思いを大切に地域に根差した生協
を目指しています。

地産地消、環境に配慮した環境保全型農業の
推進など「食」と「農」を通じて、パルシステム
ならではの暮らしに貢献する事業や活動をすす
めていきます。

組織概要 (2022年3月末現在)	
名称	パルシステム埼玉
設立	1951年5月
代表	理事長 樋口 民子
	専務理事 横山 博志
組合員数	219,059人
出資金	87.3億円
事業高	325.3億円
職員数	627人（うち正規職員116人）

理念

心豊かなくらしと共生の
社会を創ります

ミッション

互いに支え合って
安心してらせる埼玉を
つくりま

2030年ビジョン

協同組合であるパルシステム埼玉が、理念・ミッションの実現に向け、
10年後のめざす姿として2030年ビジョンを策定しました

食・農

持続可能な食の安全と安心を守りながら、
豊かな食文化と食生活を広げます。

福祉・くらし

助け合いの輪で、誰もがいきいきと安心して暮らせる
地域社会づくりを広げます。

環境

一人ひとりが、地球環境に配慮した
「きりかえる」行動をくらしの中に広げます。

平和

多様性を認め合い、争いや格差のない命が
大切にされる社会を広げます。

《2030年ビジョンを実現させるための取り組み》

事業・経営

- ・事業・活動の改善及び革新をすすめ、安定した経営基盤を築きます。
- ・くらしの多様化に対応できる供給事業の改善や商品開発を進めるとともに、保障事業を伝え組合員のくらしを支えます。

人・組織

- ・職員一人ひとりが、パルシステムで働くことに誇りをもって活躍し続けられる組織をつくりま
- ・人材の確保と育成を強化し、多様な背景を持つ人たちが活躍できる組織づくりを推進します。
- ・組合員活動の新たな参加・参画の仕組みをつくり、活動の担い手づくりをすすめます。



パルシステム埼玉の事業



供給事業

農業や添加物にできるだけ頼らない商品や化学調味料不使用の加工品など、安全な商品を玄関先までお届けする生協の宅配事業です。くらしに合わせて選べるカタログ「コトコト」「Kinari」のほか、カタログのお届けがないアプリ完結型「タベソダ」、カタログで選んだ商品をアプリから注文できる「ぼちパル」、注文した食材やお届け履歴が楽に管理できる「まめパル」など、スマートフォン向けサービスも充実し、県内8センターから埼玉全域、週11万人の組合員に配達しています。

また、2020年10月から蕨センターと入間センターで直接商品を受け取る新サービス「ステーションパル」を開始しました。新しい利用方法として、今後も展開を広げていく予定です。



サービス事業

パルシステム埼玉オリジナルサービスのプリユ葬を取り扱う葬祭事業協同組合「埼玉こすもす」、「株式会社ティア」、「株式会社セレモニー」の3社が葬儀を施行しています。また、2019年度より遺品整理・福祉整理専門会社「あんしんネット（アールキューブ株式会社）」と提携し、不用品整理、遺品整理なども行なっています。

多様化する組合員のニーズに合ったサービスを提供し、組合員が安心してくらしを過ごすよう、くらし全般をサポートしています。

共済

CO・OP共済は、入院・手術・けがなどを幅広くカバーした《たすけあい》を中心に、《あいぶらす》《ずっとあい》等、お手頃な掛金の保障で組合員のくらしをサポートします。ライフプラン活動等、多くの組合員にCO・OP共済を知っていただく活動を通じて「助け合い」の輪を広げています。



電力事業

電力自由化に伴い、2017年4月より、パルシステム埼玉も電力をひとつの事業として「パルシステムでんき」を推進しています。原子力や化石燃料に頼らず、太陽光や水力、バイオマスなど自然の力を生かしたFIT電気（再生可能エネルギー）により得られた電力を中心に供給しています。



組合員活動施設「ぱる★てらす」



世代を超えたさまざまな人々が集う「コミュニティの中心・拠点」として、組合員はもとより地域の方にも広くご利用いただけるパルシステム埼玉の組合員活動施設です。会議室や多目的室、調理室で学習会やイベントが開催されています。



親子ふれあいサロン

組合員活動施設「ぱる★てらす」では、毎週金曜日に、地域で子育て中の親子の交流の場として「親子ふれあいサロン」を開催しています。

2021年度もハロウィンやクリスマスのミニイベント、絵本の読み聞かせなど工夫を凝らした企画を行いました。参加した方同士の情報交換の場にもなっています。



事業所案内



- ① 本部・蕨センター
- ② 草加センター
- ③ 大宮センター
- ④ 白岡センター
- ⑤ 川越センター
- ⑥ 三芳センター
- ⑦ 入間センター
- ⑧ 熊谷センター
- ⑨ 組合員活動施設 ぱる★てらす

特集

パルシステム埼玉の地域支援

「貧困・医療支援積立金」のご報告

2021年6月10日開催の第28回通常総代会において、コロナ化でひっ迫する地域医療と困窮世帯を支える団体を支援する目的で「貧困・医療支援積立金」総額300万円の積み立てが承認されました。承認を受け、理事会での協議の結果、5団体への支援を行いました。



2. 特定非営利活動法人 フードバンク埼玉

お米2.4トン、レトルト食品0.6トン
合計 3トン



4. 特定非営利活動法人 フードバンクネット西埼玉

赤ちゃん用品(粉ミルク、紙オムツ等)の購入代として



1. 医療生協さいたま生活協同組合

医療用手袋「ニトリルグローブ」
380箱(9万5千枚)



医療生協さいたまからの
感謝のメッセージ

ご寄付を頂いた医療用手袋は、ワクチン接種対応や訪問看護分野で活用させていただいています。この度は、ありがとうございました。

3. 一般社団法人 在日ベトナム人仏教信者会(大恩寺)

困窮世帯への食料宅配料金、技能実習生の
帰国送迎費用等として



5. フードパントリー大宮

医薬品(湿布・鎮痛剤等)、女性用衛生用品
(紙ナプキン)の購入代として



青果の寄贈

2019年9月より食品ロスの削減と埼玉県内の子どもたちの豊かな成長を目指し、毎週月曜日に「一般社団法人 彩の国子ども・若者支援ネットワーク」と「埼玉県子ども食堂ネットワーク」へ青果を寄贈する取り組みを継続しています。組合員に供給する過程で、事業上やむを得ず発生する予備青果を、2021年度は5t寄贈し、学習教室や子ども食堂の食事に役立てられています。



児童書・ぬいぐるみ寄贈

「(一社)彩の国子ども・若者支援ネットワーク」からの相談を受け、組合員活動施設「ぱる★てらす」での呼びかけで組合員から寄せられた児童書316冊とぬいぐるみ180個を寄贈しました。

今後も呼びかけを継続していくとともに、同法人へのさまざまな協力を通じて、子どもたちの健やかな成長をサポートしていきます。



フードドライブ

フードドライブは、ご家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、「フードバンク」を通じて地域の福祉団体や施設などに寄付する活動です。

パルシステム埼玉でも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活困窮者への支援並びにフードバンク活動の普及啓発の一環として、2021年10月11日(月)～22日(金)と2022年3月7日(月)～18日(金)の配達時にフードドライブを実施しました。組合員から寄せられた食品の総重量は1,193.4kgでした。集まった食品はNPO法人フードバンク埼玉を通じて、支援を必要としている方に届けられます。

また、組合員活動施設「ぱる★てらす」では常時フードドライブを受付けています。



お好みソース寄贈

「埼玉県子ども食堂ネットワーク」へ『お好みソース40g』5ケース(1,500パック)、「(一社)彩の国子ども・若者支援ネットワーク」へ10ケース(3,000パック)を寄贈しました。このソースは、パルシステムで取り扱う商品『お料理セット』の内包食材のうち、賞味期限が迫ったものとなりますが、食品ロスの削減と埼玉県内の子どもたちの豊かな成長を目的に活用していただくことになりました。

